

平成22年第1回社会教育委員会会議録

日時：平成22年5月20日(木)

午後7時30分から午後9時25分

場所：あわら市役所 2階 204会議室

(会議日程)

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長挨拶
- 4 議長及び副議長の互選
- 5 議長挨拶
- 6 議 題
 - (1) 平成21年度事業報告について
 - ・ 文化学習課所管
 - ・ スポーツ課所管
 - (2) 平成22年度事業計画について
 - ・ 文化学習課所管
 - ・ スポーツ課所管
 - (3) 質疑応答・意見交換
- 7 連絡事項(県・東海北陸大会日程)
 - (1) 6月16日(水) 県社会教育委員連絡協議会総会(鯖江市)
 - (2) 10月21日(木)～22日(金) 東海北陸社会教育研究大会(福井市)
- 8 閉 会

(出席委員)

吉田 明博	小林 良嗣	平尾 和男	高橋 ひろみ	佐孝 修彦
青柳 淳一	永棹 厚子	林 秀	有馬 行之	大宮 早苗
宇都宮高栄	伊藤 清明	林 清一郎		

(欠席委員)

林 邦宏 松井 幹夫

(委員以外の出席者)

教育長	寺井 靖高	スポーツ課長	五十嵐 治
文化学習課長	岡崎 雅一	埋蔵文化財センター所長	木下 哲夫
スポーツ課長補佐	林 明美	文化学習課長補佐	後藤 幸子
中央公民館長補佐	大角 勇治	文化学習課主任	岩城 善行

【 開 会 】

【 委嘱状交付 】

教育長より各委員へ委嘱状を一人一人に手渡す。

【 教育長挨拶 】

社会教育委員の任期が平成24年3月31日までとなっている。この間、社会教育推進に対し、いろいろなご意見をいただき、更なる発展に努めていきたい。

事務局より社会教育法（抜粋）の説明を行った。

【 議長及び副議長の互選 】

文化学習課長があわら市社会教育委員設置条例施行規則に基づき議長及び副議長の選出を説明。

委員の互選により、議長に宇都宮高栄委員、副議長に林清一郎委員が承認された。

【 議長挨拶 】

これからあわら市の社会教育発展のため皆様の貴重なご意見をいただきながら推進を図っていきたく思いますのでご協力をお願いしたい。

【 議題 】

平成21年度事業報告について、文化学習課・文化財・図書館・公民館・スポーツ課の順で各事業の報告を行った。引き続き、平成22年度事業計画についても同様に行った。

【 質疑応答・意見交換 】

議長 本年よりあわら総合型地域スポーツクラブ事業が始まっていると聞いているが、その説明がないように思うのですが・・・

事務局 2月末にあわらトリムクラブ（約300名会員）という外部団体ができ、そこで運営を行っているため会議資料の中には掲載いたしておりません。

委員 来月に1,200人余りの親子が集うPTA事業を実施する。その際PRとしてトリムクラブの紹介を行っていく。

議長 トリムマラソンのメイン会場が昨年が変わり、市役所駐車場となりましたが、今後はこの場所で定着するのか。

事務局 今年度のトリムマラソンは非常に天候にも恵まれ、特に大きな事故等もなく皆さんのお蔭をもちまして無事終わることができ、いろいろな方にご意見を聞いたところ昨年度に比べると運営もしやすかったとお言葉もいただいた。ただ今後引き続きこの場所で行う上でスタート場所の問題、音響の問題等は反省点として検討していきたい。

委員 芸術文化部門において、文化会館の利用活用方法を考えるべきでは。

委員 市民文化祭の会場として何度か利用したことはあるが、会場の使いやすさ、交通の利便性から考えても利用しづらい。現在は中央公民館で開催が続いている。

事務局 文化会館については、特に活用方法については検討していない。修繕費用等がかかりすぎるため手がかけられない。

委員 公民館イベントの中央公民館ほのぼの展の参加者が少ないように思うが、もうちょっと人集めができないか。PR 不足ではないか。

事務局 他公民館イベントと違って、祭りではなく作品展であるため集客が見込めないのではないか。

委員 ほのぼの展について、私が見た限り結構人がいたような気がする。連合婦人会では市の事業に対して協力は惜しまないが、よく似た事業の開催日が近すぎて不満もでてきている。今年度の事業を確認すると離れているのでまた協力したい。

委員 ほのぼの展については、私も人が少なかったように思う。関係者しか見に来ていないように思われる。今後地域と連携したイベントにすると集客も見込まれるのではないか。

議長 以前、社会教育の研修に参加したとき地域の社会教育推進には公民館を拠点した活動を行うことと聞いており、是非委員各位にも幾度か公民館に足を運んでほしい。

委員 金津創作の森のイベントスケジュールについて、開催期間が長すぎるのではないか。

委員 私は金津創作の森企画委員もさせていただいている。いろいろ企画委員の中で検討はしているが、市民に喜ばれるものを思うと費用がかかりすぎる。芸術とはお金がかかるものであり、限られた予算の中で余り間を空けないイベントとしては精一杯やっているところである。この話は、ひとつの意見として企画委員会へもって帰りたい。

委員 文化財保護に関し、市民の認識度が低く市の遺産としてこのようなものがあり、出土したと公表できるよう展示会のようなものはできないものか。

事務局 発掘調査現場での見学は事故等に対する対処ができないことや現場への進捗に支障をきたす恐れがあるため非常に難しい。現場での発掘調査が多いため出土品の整理がなかなかつかない。

委員 市が文化財に対しどのようなことをしているか、どのようなものが出土したかを市民は知らされるべきであり、展示会等は開催した方がよいと思う。それから指定文化財のPR がまだ足りないのではないかと感じる。

委員 子どもクラブについて、今年から新郷小学校にて新設されたが、実態は利用者が少ない。ただ預けるということではなく、地域で育てていた子どもたちをクラブで育てていくといった理解を得なければならないと感じる。また、私はトリムクラブに属し体育指導員にも属しているが、地道な活動をして市民への認知度は低いいため広報活動の重要性は高いと感じている。

委員 子ども教室のやり方・意義とはどのようなものか。

事務局 現在、各校区単位で伝承遊びなどを地域の人・文化協議会員の方々に協力を得ながら行うことで地域の文化を未来に残していけると考えている。

委員 児童クラブは、この社会情勢において子どもが安全で安心して暮らせる世の中でなくなっていることから放課後大人の留守時に危険がないように地域で見守る制度として始められた。今後も大事なことだと思われる。

委員 子ども 110 番の家というものがあるが、先般子どもが 110 番の家近くでおしっこを我慢しきれず近くでしたという状況を見た。子どもにとって、いざという時の逃げ場なのにトイレを借りることもできないという現状はどうだろうか。

委員 子どもに対しては 110 番の家への入り方などを学校で教えている。地域によって特に大きい学校ほど利用しにくい状況にあるかもしれないが・・・。

委員 金津小 PTA では 110 番マップを作成して配布している。また、地域が一体となって見守り隊を結成し活動して何年かになる。挨拶もできるようになってきており、顔見知りになってきているため効果は大と思われる。孫をもたない老人の方も気にかけてくれている。最近は子どもより親を育てないといけないということで講演会も実施することになっている。

委員 子どもクラブの利用料とはどのような形態か。また、どのように使われているか。

事務局 利用料とは利用者の親から市に収めていただくもので、その利用料についてはおやつ代とか指導員の人件費に使われている。

委員 1 日だけの利用とは可能なのか。

事務局 1 日だけとか短期間の利用はできない。その日が面倒見られないときは福祉のすみずみ保育事業を利用していただき、ヘルパーを頼んでもらうことになる。

【 連絡事項 】

県社会教育委員連絡協議会総会及び東海北陸社会教育研究大会について事務局から説明。参加呼びかけをする。

【 閉 会 】